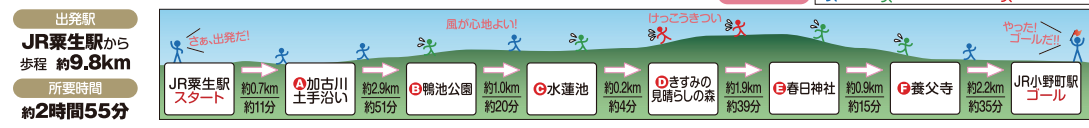


兵庫エリア 粟生コース

# 風と緑と野鳥のまちを歩く



# 四季折々の自然と水辺の風景に癒やされてのんびりとハイキングを楽しもう

JR粟生駅から南下し鴨池を目指して歩くハイキングコース。道中、豊かな緑に囲まれての散策がなんとも気持ちよく、お寺や神社などに寄り道をしながらゆっくりと歩いてみよう。

鴨池

## 粟生名物 コレが人気の 食事処

**プレートカフェ** ぶらーとかふえ

手作りマフィン  
鴨池のほとりに佇むツリーハウスのカフェ。こだわりの材料で作った焼きたてマフィンが大好評。コース仕立てのバスタランチも楽しめる。ツリーハウス席は2週間前より予約可。

11時～16時30分(LO)  
木・金曜日  
0794(62)2219 (2020年6月現在の情報です)

**ぶらっときすみの**

本格手打ちそば  
JR小野町駅構内にあるので、電車の待ち時間に一息がてら立ち寄ろう。自慢のそばは地元で栽培したそば粉を使用している。また巻寿司は人気のメニュー。

8時～14時(そばは10時～)※売切れ次第終了(お寿司のみ)  
水曜日(祝日は営業)  
0794(62)5116 (2020年6月現在の情報です)

見る 楽しむ 歳時記

●1月上旬	歩射祭(欽溪神社)
●3月	小野アルプス縦走ハイキング(鴨池・小野アルプスほか)桜つつみウオーク(おの桜つつみ回廊)
●4月上旬	
●7月中旬	祇園祭(欽溪神社)
●10月上旬	例祭(欽溪神社)
●11月	小野史を歩く会(市内の日跡)

## ここにも寄りたい

地域の心のより所として信仰された

**欽溪神社** くわたにじんじや



境内拝観自由 0794(62)6239

82代後鳥羽天皇の時代に当地で疫病が流行。播磨守・源範景が建久3年(1192)に京の祇園神社(八坂神社)から分霊を勧請し下野という地に社殿を創立。天正9年(1581)、再び疫病が流行。その後天正10年(1582)に神託があり、現地に遷座し桑谷牛頭天王社と称した。明治時代になって社名を欽溪神社と改めたという。

楠の大きな木が見守るのどかな境内

**大龍寺** だいりゅうじ



境内拝観自由 0794(62)2998

風情のある竹やぶの参道を抜けると大龍寺の境内。まず、播州握鉢(にぎりばさみ)元祖の碑は伝統産業にもなった握鉢を初めて作った盛町宗兵衛を記念して門徒が嘉永2年(1849)に建立したものと云われる。奥に進むと市の保存樹、ツツジや楠の大きな木、そして、俊足で知られる章駄天像。この神様は、走りやすく、速やかに邪神を削除する仏法の守護神とされている。

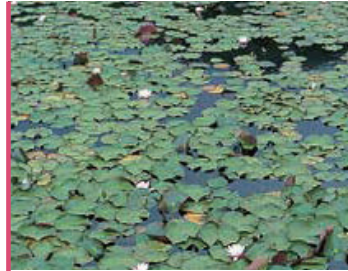
## おすすめスポットガイド SPOT GUIDE



何気ないけど印象に残るハイキングスポット

**A 加古川土手沿い** かこがわどてそい

JR粟生駅から鴨池の方に向かって加古川の土手沿いを歩く。春ならば緑の中に咲くアザミの花が可憐だが、秋風に吹かれるスキの頃も風情がある。



神秘的な美しさは見とれるほど

**C 水蓮池** すいれんいけ

さすみの見晴らしの森の西入口付近、一見段々畑のように見える水蓮池。5月下旬～7月中旬頃、上へ上へと続く3段の池をのぞくと、淡いピンク色の花が一面に広がっている。

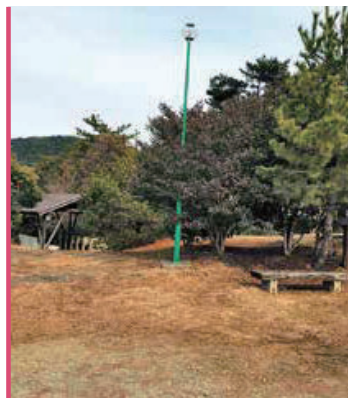


村社として親しまれる神様

**E 春日神社** かすがじんじや

苔むした手水鉢(ちょうずばち)には天明6年(1786)年九月の刻銘がある。地元では岩倉神社さんとも呼ばれている。春日神社へ向かう途中、用水路の一部はピオトープとして整備されており、メダカやカワムツ、ヤリタナゴなど小さな生き物がたくさん生息。眺めるだけでも心が癒やされそう。

境内拝観自由 管理 住吉神社 (2020年6月現在の情報です)

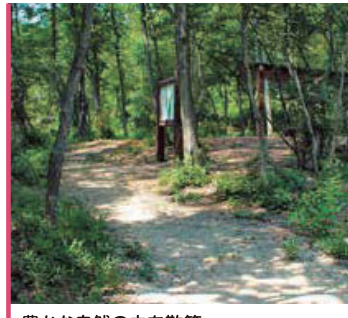


冬には鴨が飛来する緑豊かな場所

**B 鴨池公園** かもいけこうえん

自然を身近に感じるキャンプ場やハイキングコースとして親しまれている。播磨中部丘陵県立自然公園の中心地として、また鴨飛来地としても有名で、毎年、冬になるとシベリア方面から鴨などの渡り鳥が飛来する。

入場自由(グラウンドやキャンプ場を利用する場合は小野市観光協会まで申請が必要)  
0794(63)1929(小野市観光協会)



豊かな自然の中を散策

**D さすみの見晴らしの森** さすみのみはらしのもり

「ひょうご豊かな森づくり構想」によって整備された「さすみの見晴らしの森」は、人が気軽に自然に触れられるよう整備された里山。谷筋から尾根へと変化するにつれて森の表情が変わり、上るにつれて生息する動物や植物が変わってくるのも楽しい。

入場自由



南北朝時代の供養塔が残る

**F 養父寺** ようふじ

小野市内では珍しい南北朝時代の供養塔があるのが養父寺。この塔は高さ約4mの花崗岩製。相輪と笠の一部に破損と修復の跡が見られるが、九重の塔婆と考えられている。南面に貞和4年(1348)6月7日の銘が刻まれている。

境内拝観自由 0794(62)5461